

## 追記

東日本大地震で、直後に TV のテロップに東北地方で大地震発生 M8.4 で表示されていたことを覚えていますか。その後、番組を中断して緊急放送に替わり、アナウンサーもマグニチュード 8.4 とアナウンスしておりましたが、まもなくマグニチュード 9.0 と訂正しました。

計算違いをしたのでしょうか、そうではありません。気象庁が通常発表するマグニチュードは、3 分以内で算出できるが M8.4 程度で頭打ちになっており、それまでは最大でも M7.0 程度でしたから問題はなかったのですが、今回 M9.0 と訂正したのは気象庁の精密地震観測室で長野県松代町にあります。

この観測室は松代町の地下にあります。第二次大戦の戦争史に興味のある方はご存じでしょう、サイパン島が玉砕、B29 が帝都空襲が始まった頃、危機感を抱いた陸軍は大本営と御座所（天皇のお住まい地）を長野県の山中に移すことを考え、選ばれた松代町に地下坑道が計 10km にも及ぶ地下壕を造ったのです。

本土決戦を目論んでの地下大本営でしたが、敗戦となり地下壕は放棄されました。

その地下坑道を再利用として気象庁の精密地震観測室を設置しました。

硬い岩盤で地下深いところにあり、かつ海からも遠く離れており地震観測には適しているため地震が観測できるばかりか、世界の何処かで秘密裏に行う地下核実験もここでは的確に観測しております。北朝鮮が絶対にやっていないと公表している地下核実験はここで捉えられておりました。

